

身近なもので、高性能な道具を作ります。自作すると使うほどに愛着がわき、手の一部のようになじみ、作品に奥行きを与えます。

作りたいものに合わせ微妙な調整も簡単に出来ます。

弓 (竿用洗濯バサミ、釣り用ワイヤーテグス、輪ゴム)



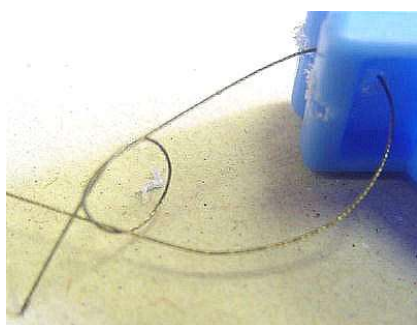
①先に小さな穴をあける



②溝を掘る



③ツマミに輪ゴムをきつく巻き紙をはさんで半開きにしておく



④ワイヤーを投げ縄結びに



⑤紙を取ってワイヤーを張る

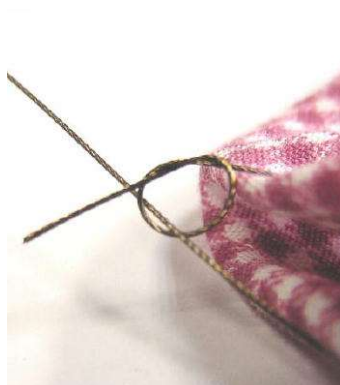


フチ切りに

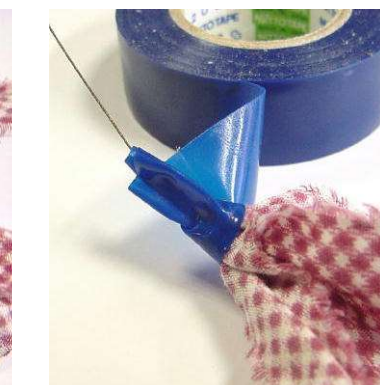
切り金 (古布、釣り用ワイヤーテグス、テープ)長さを変えて作りましょう



①ワイヤーを切る



②布にワイヤーを投げ縄結びに



③テープを巻いて完成

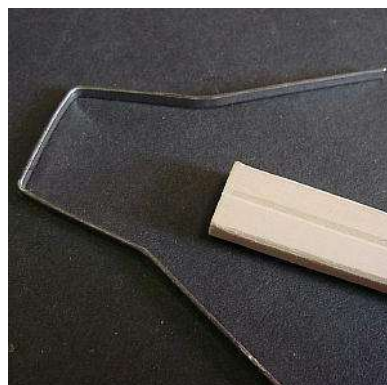
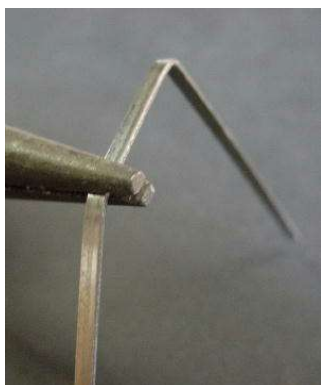
デバイス (12番針金、25cm) 大きさを変えて作ると便利



- ①ドライバーに 2回転
②両先をとがらす ③両先を曲げる

高台のマークに使う

カキベラ (車ワイパー芯、割箸、テープ) 市販品より切れ味がよいステンレス刃



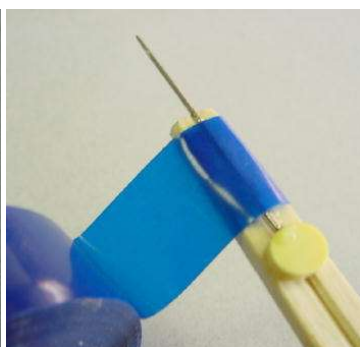
- ①芯を約15cm に切りペンチで曲げる ②箸の太い方にテープでしっかり留める



- ③箸の長さを詰めテープで留める ④刃を付ける

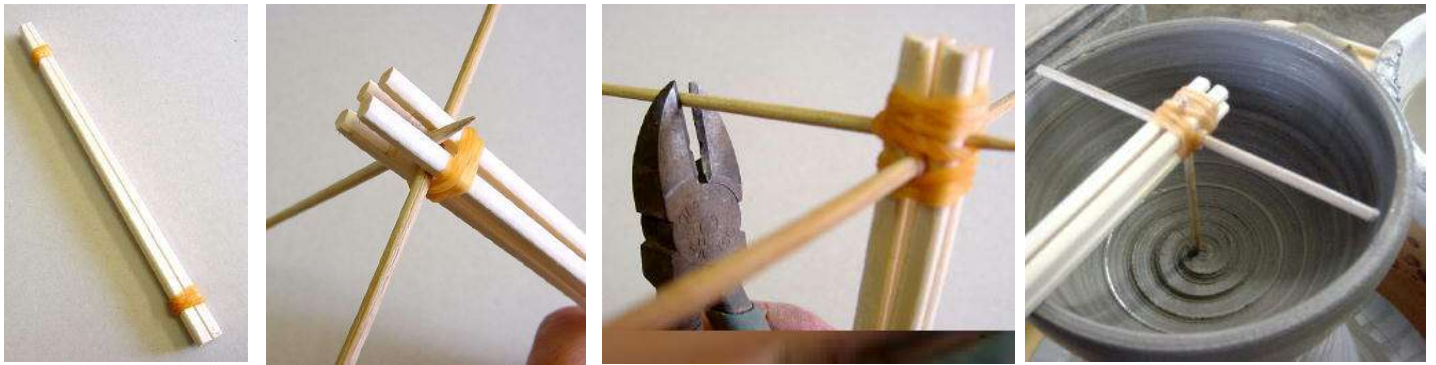
細かい削りに

針 (糸用待ち針、割箸、テープ) 折れない針で安心。※普通の待ち針不可



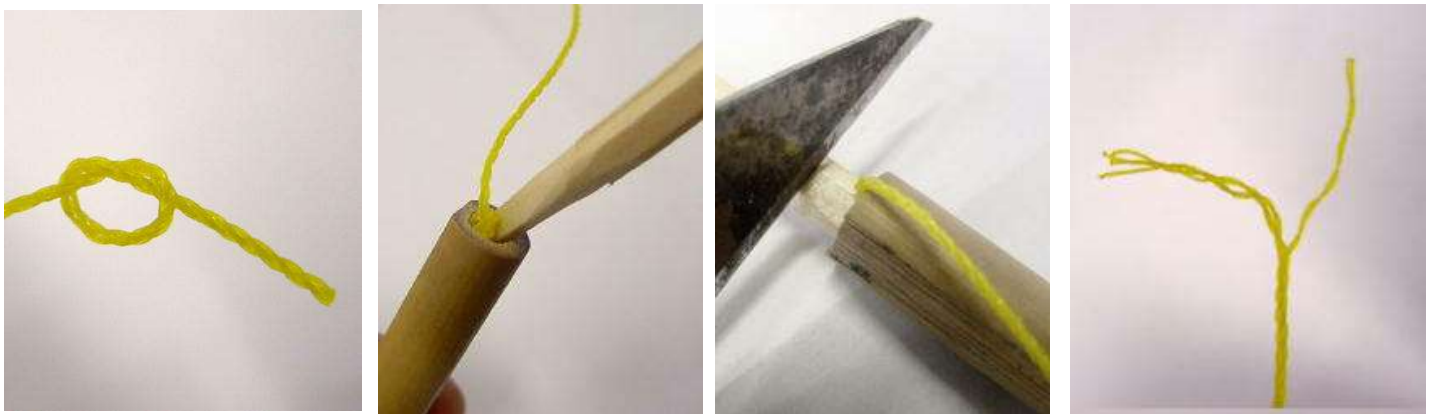
- ①箸の先に針を置き瞬間接着剤を付ける ②テープをきつく巻く ③長さを詰める

トンボ (割り箸2本、串、輪ゴム) mm単位で微調整の出来る高性能

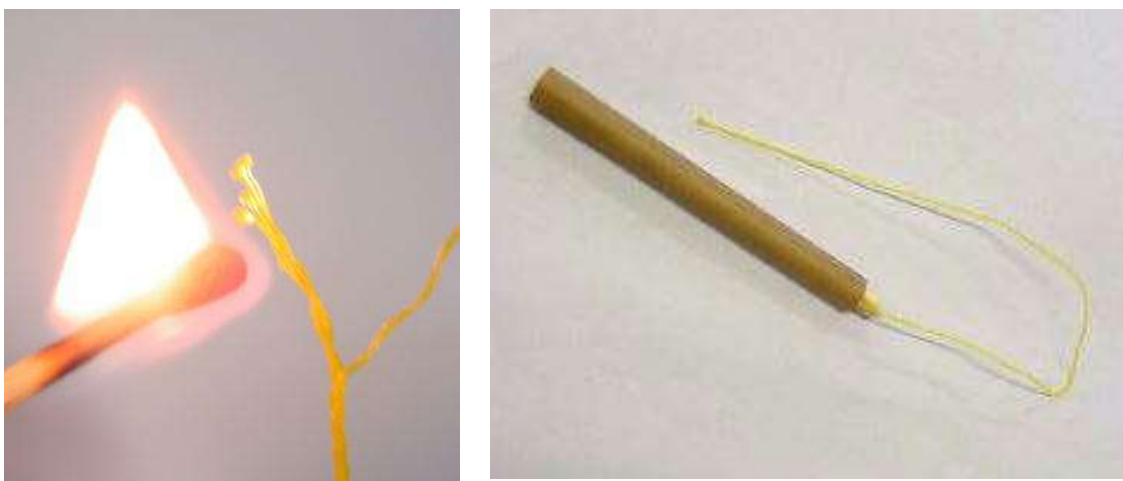


① 2本をゴムで仮止 ② 串を十字に差す ③ ゴムで巻き串を寸法に 揃いの器作りに

ヒツピキ (大工用3本縫りの水糸、筆の軸、割り箸)

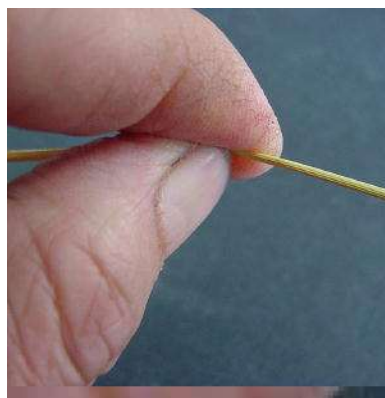


① 玉を作る ② 削った割箸で軸に止める ③ 余分を切る ④ 先を2本と1本に分ける



⑤ 2本をマッチで溶接する ⑥ 1本をほぐして切り取り、縫りを戻す、完成
水糸3本縫りを2本縫りにすると柔らかく離れが良い

おまけ 藁ヒツピキ (生きのいい藁)30年前に教えてもらった。これだけで自慢



①藁の芯を抜く(みご、わらしべ) ②水でしごいて柔らかく ③針で二つに裂く



④撻りを掛ける

⑤先を縛る

⑥別の藁で持手を作る



⑦持ち手に絡める

⑧できあがり

最高の糸尻が作れる